

金沢学院大学大学院

2025 (令和 7) 年度 入学者選抜試験問題 (I 期)

2024 年 9 月 7 日 (土) 実施

経営情報学研究科経営情報学専攻  
博士前期課程

小論文

注意事項

- 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 解答は、解答用紙（提出用）に書きなさい。
- 問題冊子・解答用紙（提出用）に受験番号・氏名を記入しなさい。
- 解答用紙には、選択した問題番号を記入しなさい。
- 試験終了後、問題冊子・解答用紙（提出用）・下書き用紙を回収します。

受験番号	
氏名	

次の問題 1～4の中から、1つ選んで答えなさい。

### 問題 1

国境の「塀」があたかも国内の県境のように低くなって、ヒト、モノ、カネ、情報が地球規模で自由に行き来する経済のグローバル化は、「光」と「影」の両面を持っていると言われています。経済のグローバル化の現状について論じなさい。

### 問題 2

マイケル・タッシュマン(Michael Tushman)とチャールズ・オライリー(Charles O'Reilly)らによって提唱された「両利きの経営」(Ambidextrous Organization)という考え方について、その概要を説明しなさい。また、なぜ、企業がいま特に「両利きの経営」に注力すべきなのか、その理由を説明しなさい。

### 問題 3

資産、負債はその流動性、債務弁済能力の観点からそれぞれ大きく二つに分類される。そのそれぞれ二つの資産、負債が①どのようなものであるかを簡潔に具体例も交えて説明したうえで、②その分類基準(二つ存在する)が「企業会計原則」においてどのように適用されているかを説明しなさい。

### 問題 4

大規模言語モデル(Large Language Model)が我が国産業のDX(デジタルトランスフォーメーション)に与える影響について、一つの産業分野をとりあげて、可能な限り具体的に論じなさい。

年度	2024年度実施
研究科	経営情報学研究科
課程	博士前期課程
専攻・コース等	経営情報学専攻
試験科目	I 期小論文
実施日(試験日)	2024年9月7日
解答又は解答例及び出題意図	
<p>○出題意図</p> <p>本試験は、経営情報学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、受験者が経営・会計、経済、情報などに関する専門的な知識を有しているか、また、それらの知識を活用して積極的かつ創造的に問題解決を図る能力を備えているかを確認することを目的としている。</p> <p>設問は、受験者が経営・会計、経済、情報などの分野から一分野を選択して論述する形式とすることで、専門知識の習得状況および学問的思考力、問題解決能力を評価できるよう設計されている。経営分野については、学術界だけでなく実務においても重要だと認識されているテーマを取り上げて問題を作成している。</p> <p>○解答または解答例(採点時の観点)</p> <p>採点時の観点は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設問の趣旨を正確に把握し、論点に的確に応答しているか。</li> <li>・経営・会計、経済、情報などに関する基礎的な概念や用語を正確に理解し、適切に用いているか。</li> <li>・論理構成が一貫しており、主張と根拠の関係が明確で、説得力のある記述となっているか。</li> <li>・知識を活用して積極的かつ創造的に問題解決を図る能力を示すことができているか。</li> </ul> <p>なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、内容の正確性に加えて、論理性・一貫性・表現力を含む総合的な観点から評価する。</p>	